



木造住宅 低コスト 耐震補強の手引き

愛知建築地震災害軽減システム研究協議会

(6) A 構法上下あき耐力壁の配置に関する構造気咽喉

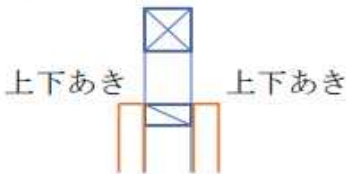
<検討内容>

A 工法上下あき合板耐力壁の上下のあき部分では両側柱の曲げ性能により水平力を伝達するため、その他の耐力要素を併用した場合のルールについて検討する。

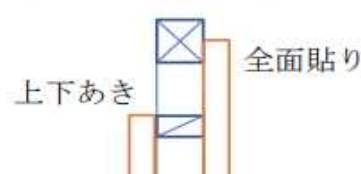
<結果>

A 工法上下あき仕様に組み合わせる耐力要素によって許容する組合せを設定する。表裏共に上下あき仕様とすることは不可とする。ただし、壁中央に横架材に達する土壁がある場合は可とする。また、両側の柱が共に隣接する全面壁、垂壁、及び腰壁に接している場合は可とする。なお、次項例のように別途柱の検討を行い、安全を確認してもよい。

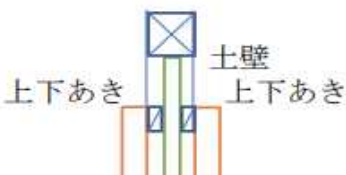
・両面上下あき …NG



・片面上下あき+全面貼り …OK



・両面上下あき+土壁 …OK



・片面上下あき+筋かい …次項例 OK



・両側が全面壁、垂壁、腰壁に隣接している場合 …耐力要素は何を用いても OK

